

持続可能な消費と生産

アジアでのSDGs実施に向けた
ステークホルダー連携への第一歩

(消費者・市民の視点からのコメント)

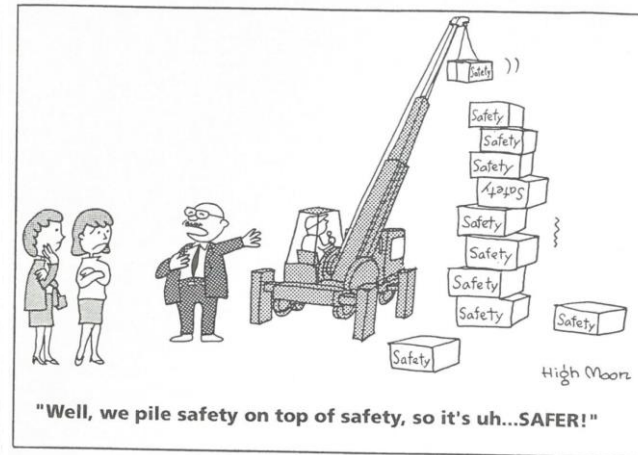
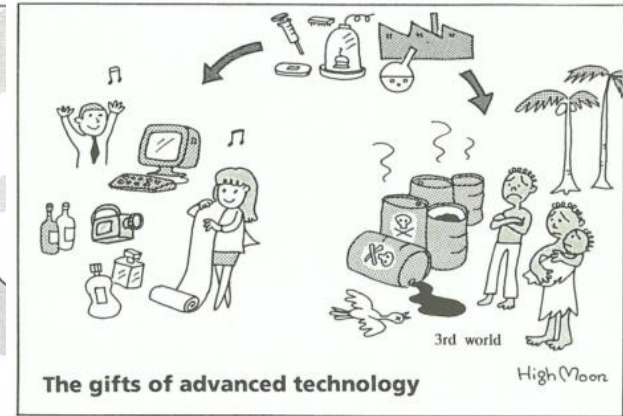
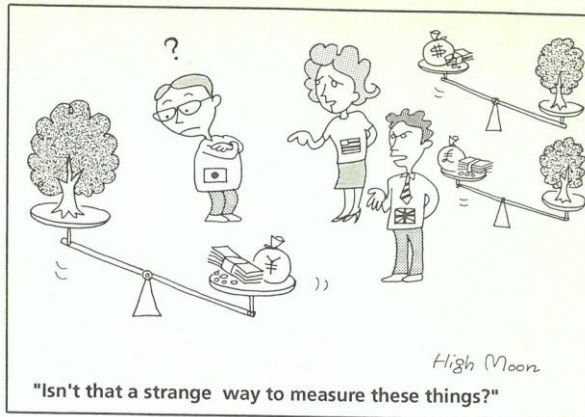
中原秀樹

東京都市大学名誉教授

国際グリーン購入ネットワーク会長

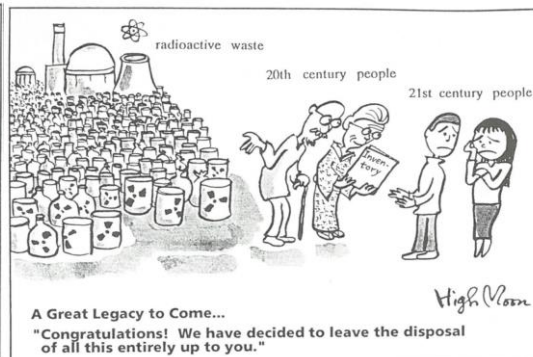
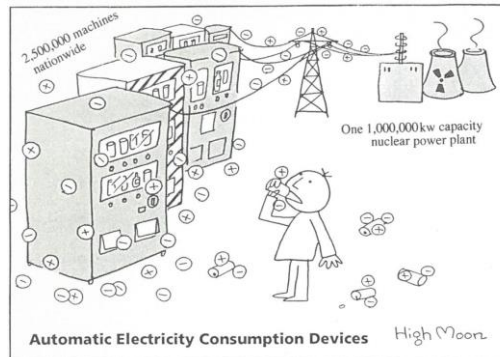
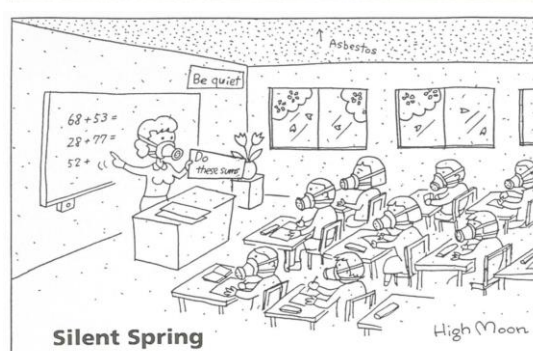
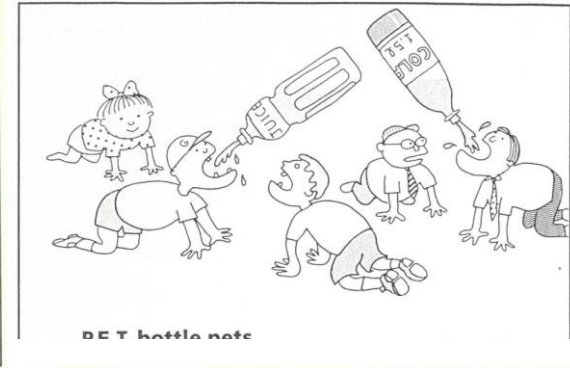
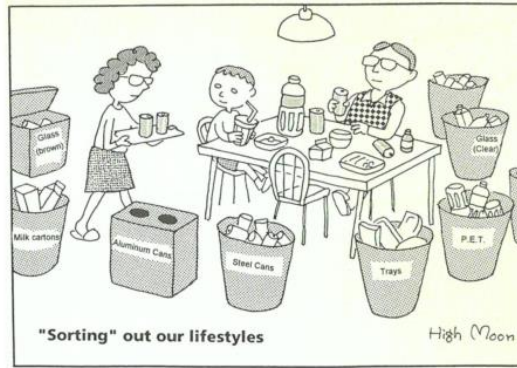
あらゆるものに値段がつけられ、値段がつけられないものは往々にして軽視される

高月紘京都大学名誉教授「ハイムーン工房のホームページ」より



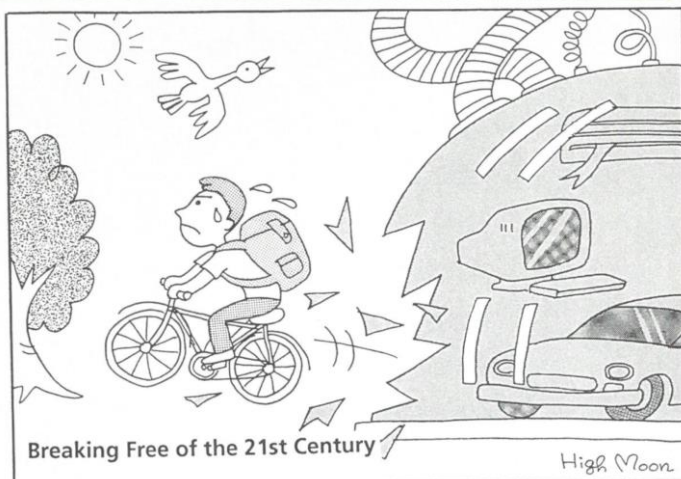
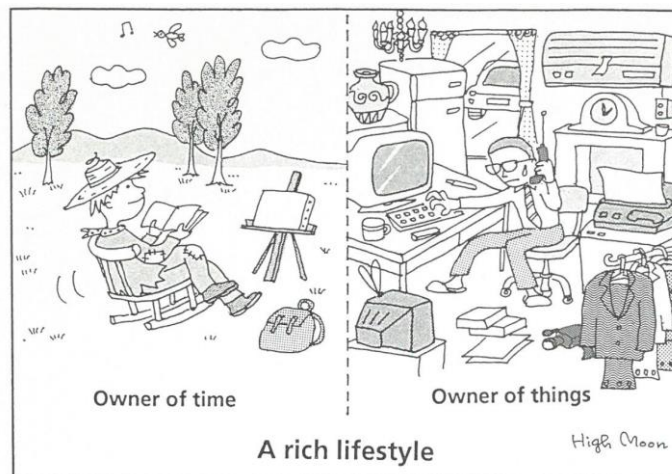
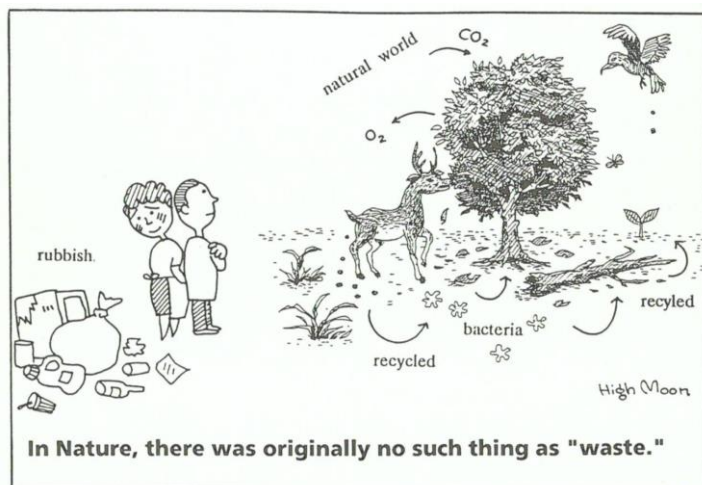
モノとサービスは、満ち足りた途端 有り余るガラクタになりやすい

高月紘京都大学名誉教授「ハイムーン工房のホームページ」より



消費主義は人生を商売にしてしまう

高月紘京都大学名誉教授「ハイムーン工房のホームページ」より





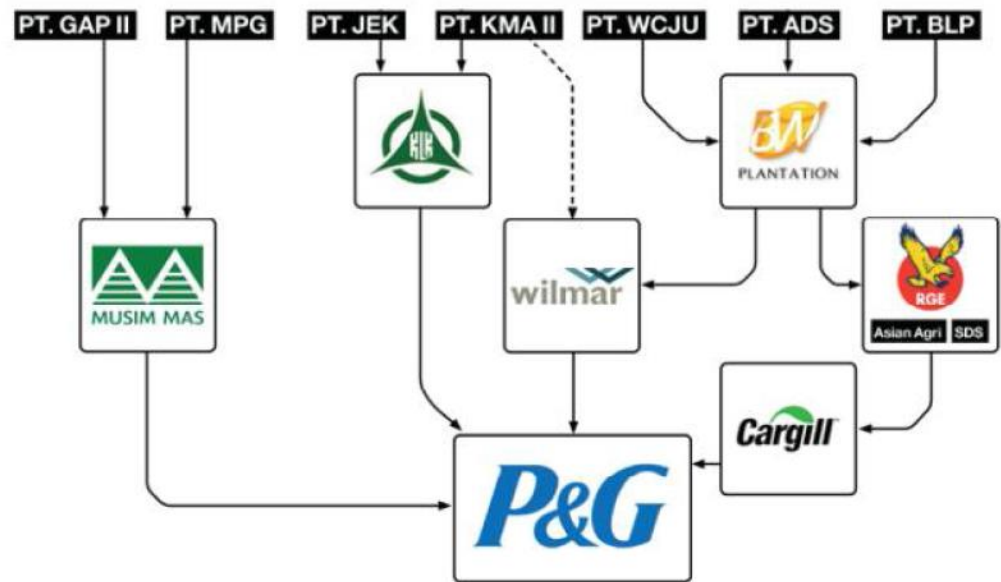
CONSUMER

消費者

グリーンピースによる名指し批判



How **P&G** is linked to dirty palm oil operations



Media briefing on Greenpeace International's investigation of how P&G's palm oil suppliers are pushing Sumatran tigers and orang-utans closer to extinction

February 2014

出典： グリーンピース・インターナショナル
2014年2月「P&G's Dirty Secret」メディアブリーフィングより抜粋

Hitachi and Canon not doing enough to tackle forced labour, says new report

[Annie Kelly](#)

Thursday 23 June 2016 12.24 BST

Tech companies are vulnerable to modern slavery in their supply chains. A new benchmarking report says many must do more to address it



Nothing is Secret



Scot Case,
UL Environment

Nothing is Secret – The Triple Threat

Miniature Cameras:



Social Media:



Smart Phones:



Scot Case,
UL Environment

「下請けの仕事だから」という言い訳は
通用しない(Apple, H&M, ユニクロなど)

サプライチェーンには倫理的リスクが発生する
箇所がいくつもあることを忘れてはならない
い。

今求められているもの：
透明性とトレーサビリティ



政治・経済 ・社会の貧困



Watch Dog

「市場がその経済的役割を果たすためには機能する市民社会が不可欠である」(ドラッカー)



CITIZEN市民

自由や寛容「市民精神」重視

G7会合で宣言

26、27日の主要7カ国（G7）首脳会議（伊勢志摩サミット）に先立って開かれた教育相会合では、各国が「自由や寛容などの共通価値を学ぶシチズンシップ（市民精神）教育を連携して進める」とする「倉敷宣言」が採択された。

昨年1月の週刊新聞襲撃事件の後、フランスではこうした「市民精神」を学ぶ新たな授業が、小学生から高校生まで週1回のペースで導入された。倉敷宣言には、フランスの要望が強く反映された。

「モラルや市民精神を教えるという、善悪の定義など一定の『考え』を教師が生徒に教えると思われるが、ちがいが、そうではない。むしろ市民社会で自由に生きていくために、必要な技術を体得する訓練のようなものに近いのです」

題材は多様だ。主眼は実践的な議論に置かれる。例えば、ネットで正しい情報を得るにはどうすべきか。自分の個人情報を守るためには何をすべきか。自分の経験を話しながら他人と共有することを通じて、「実践的に学んでいくもの」だという。

ただ、ジレンマもある。貧しい家庭の子が通う学校と豊かな家庭の子が通う学校が完全に違っていれば、授業の議論の中で多様な視点を体験しにくくなる。それを実現するには、授業のプログラムだけではなく、学校制度そのものの改革も必要となり、実現のハードルは高くなる。教育相は、それでも意義を強調する。「重要なのは、仮に他人と意見や視点を一致できなくても、暴力に至ることなく共生できるという確信を持てる経験を積むこと。そういう経験が、社会の多様性を推し進めます。実現は簡単ではないが、私は不可欠な改革だと思います」

A white guide dog, possibly a Labrador Retriever, is shown from the side, standing on a light-colored surface. The dog is wearing a yellow harness and white sneakers with blue accents. It is looking towards the left with its mouth open, appearing happy. A person's leg in light-colored pants is visible next to the dog, and a hand is partially visible at the top left. The background is blurred, showing an indoor setting with a yellow wall.

Guide Dog

ありがとうございました

